

安全・安心で誇れるまち『刈谷』を目指します

ご挨拶

皆様こんにちは。いつもお世話になってます。

刈谷市議会議員の深谷ひできです。

現在、地域福祉懇談会で、直接皆さんと対話をさせて頂いております。今後も、皆様の声にしっかりと耳を傾け「安心安全で誇れるまち刈谷」の実現に向け全力で取り組みます。

活動報告

≪福祉産業委員会 行政視察に行ってきました≫

【参考】

行政視察とは市議会の議員が市政の発展や行政などの適正な運営を行うために、他の自治体などの先進的な取り組みを実施している地域に訪問し、その地域の行政や経済、文化の実情・事例を直接調査し把握することです。

(1) 日程・テーマ

NO	日程	行先	テーマ
1	10月16日(水)	埼玉県熊谷市	『農福連携』について
2	10月17日(木)	千葉県船橋市	『健康スケール』について
3	10月18日(金)	神奈川県川崎市	『知的財産戦略』について



(2) 内容

訪問先 : 埼玉福興株式会社

訪問目的 : 埼玉福興株式会社では、労働市場で不利な立場にある人々のために、仕事を生み出す機会を提供するソーシャルファームとして働く場を創出している。今後の刈谷市に参考となる取り組みであり視察を行った

訪問先概要 : 埼玉県と群馬県で障害者支援事業を展開。埼玉福興株式会社を中心にグループを形成
NPO法人グループファームは生活寮である年代寮と、就労継続支援B型事業所オリーブファームを運営
群馬県にあるNPO法人Agri Firm Japanは2つのグループホーム(ホームクラリス、ホームクラリスI)とB型事業所クラリスファーム、信開産業株式会社は小規模多機能型住居介護施設三成の家を運営している。

取組み実績 : 水耕栽培ハウス(埼玉) 2,241㎡ 苗・花卉栽培ハウス(埼玉) 1,432㎡
野菜苗育苗ハウス(埼玉) 360㎡ グリーンケア農園(埼玉) 0.3ha
露地栽培(埼玉) 4ha 露地栽培(群馬) 1ha
オリーブ栽培(埼玉) 1ha オリーブ栽培(群馬) 1ha

施設利用者 : 18歳~75歳、知的障がい者・触法障がい者・ニート・ひきこもりなど



(株)埼玉福興オリーブ畑にて

訪問先 : 船橋市役所

訪問目的 : 船橋市では「日本一健康で元気なまち」「健康寿命日本一」を目指し健康スケールを開発し活用している
今後の刈谷市に参考となる取り組みであり視察を行った

訪問先概要 : 健康スケール開発の目的

◇年齢以外の物差しが必要

- ・高齢化率、要介護率、超高齢社会などの言葉は「あまり良くないイメージ」ではないと感じていた地域に出向くと元気な高齢者が様々な場面で活躍している。高齢者自身がどれくらい「健康で元気」であるかを実感してもらうための物差しが必要

◇エビデンスが必要である

- ・今後活動に繋げるためにはエビデンス(科学的根拠)に基づく事業実施が必須となる
- ・エビデンスに基づく「地区分析」を行い、地区コミュニティの良い項目、改善が必要な項目を高齢者に示し、個人で取り組む健康づくり・介護予防に加え、地域で取り組む健康づくり・介護予防に繋げる

取組み内容 : 高齢者を対象に22項目のアンケートに答えると、高齢者の元気を計る指標、3年後の要支援・要介護リスクを計る指標、運動機能の低下、口腔機能の低下などが分かり、結果を健康作りや介護予防に繋げる活動

訪問先 : 川崎市役所
 訪問目的 : 川崎市は「川崎市知的財産戦略」を策定し取り組みを展開しており、この取り組みが「川崎モデル」として地域に根付いている。今後の刈谷市に参考となる取り組みであり視察を行った
 訪問先概要 : 「川崎市知的財産戦略」として、企業等の開放特許等の知的財産と市内中小企業とのマッチングにより製品化に繋げている。この取り組みが「川崎モデル」として地域に根付き、現在では他都市にも広がっている
 「川崎モデル」で重要なのは①現場主義②おせっかい③顔の見えるネットワークである
 ①「現場主義」とは、まずは会議室から飛び出し、現場で中小企業経営者の生の声を聞くなど、実践を徹底的に重視している。現場主義を貫くことにより市内企業経営者の思いや、有する技術を的確に把握することで知的財産のマッチングを可能にする
 ②「おせっかい」は企業が相談窓口に来るのを待つのではなく「川崎モノづくりブランド認証制度」などを活用し呼ばれなくても企業訪問を行い、頑張る中小企業を見つけ積極的に支援をすること。こうした「おせっかい」を徹底することで市内企業の潜在力を引き出すことを可能にしている
 ③「顔の見えるネットワーク」は企業訪問活動を通じて企業と行政が相互理解し信頼関係が構築されることことを象徴するキーワード
 取組み結果 : 成約36件、商品化24件



船橋市役所にて



川崎市役所にて

【大雨・浸水への備え】 身を守るため

洪水ハザードマップをもう一度確認しましょう。風水害・土砂災害から身を守るために「いざ避難！」となった場合に備えた準備が重要です。自宅付近の浸水する場所や深さなど、「知る」事が大切です。



地域の困りごと、市政に対する
 ご意見・ご要望などがございましたら、お気軽に
 『くらしの相談カード』
 『くらしの相談窓口』

をご利用ください。

〒448-0847

刈谷市宝町8丁目1番地
 豊田自動織機組合会館 est 内
 TEL : 0566-24-5848
 FAX : 0566-23-9113

皆さんの声に耳を傾け、精一杯頑張ります

